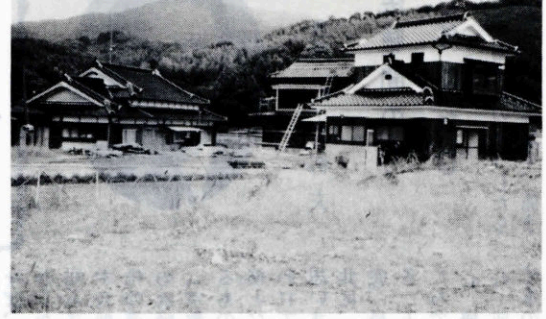


# マイホームと税金



マイホームは多くの方の夢ですが、実際にマイホームづくりとなると、資金計画や設計などいろいろな問題がでてきます。税金もその一つでしょう。

さて、マイホームを持つとそれにかかる税金には、「登録免許税」(国税)と「不動産取得税」(県税)とがあります。土地や建物を取得したときは登記しますが、その登記の際に登録免許税がかかります。しかし、マイホームについてはこれらの税金が次のように軽減される特例があります。新築の場合は、新築後一年以内の登記であることなどの要件にあてはまれば、市役所などに備えられている固定資産台帳の評価額の〇、二割が税金です。またいわゆる中古住宅の場合は、①借家などに中古住宅を購入する日まで一年以上住んでいたこと②その住宅を譲渡した者が、引き続き三年以上所有し、かつ、譲渡の日以前二年以内に住

んでいたことがあること③新築後一〇年以内の住宅であること④購入後一年以内の登記であること⑤その住宅の固定資産台帳の評価額が一㎡当り、七七、〇〇〇円以下であることなどの要件にあてはまれば三割の税金が済みます。  
不動産取得税は固定資産台帳の評価額(新築住宅については一定金額控除後)の三割が税金です。  
ところで、これらとは別に所得税から控除される「所得税の住宅取得控除制度」がありますが、詳しくは税務署か役場税務課にお尋ねください。

## 税を知る週間

〇十一月十一日〜十七日

国は、私たちが豊かで幸福な生活ができるように、幅広い活動をしており、税金はその活動の大切な財源となっています。また、税金は、私たちの日常生活においても、いろいろな面でかかわりあっています。

そこで、今年も十一月十一日から十七日までを「税を知る週間」として  
① 税務行政の現状のお知らせ  
② 納税者に役立つ税知識の普及  
③ 税務相談窓口の利用  
などに重点を置き税金についてその仕組みや理解しみなどを、皆さんに正しく理解していただくことにしています。  
主な行事を紹介しますと

## 座談会 〇臨時の税務相談所 〇受けよう 子宮ガン検診

女性のガンの中で最も多いのは子宮ガンで、女性全ガンのうち約三割を占めています。胃ガンもほぼ同じ率ですが、死亡率は子宮ガンのほうが胃ガンの約半数以下ですが、それでも年間約六〇〇〇〇人の人が死亡しております。かかる率が高い割に、死亡率が低いのは治療しやすいからです。だからといって安心はできません。手遅れになったら他のガン同様助かりません。めんどくさがったり、恥ずかしがったりしないで集団検診を受け早期発見、早期治療が大切です。今年も次の日程により子宮ガン検診を実施いたしますので、この機会に必ず検診を受け、自分の健康を確かめましょう。

日程表		
期日	受付時間	場所
11月14日	13:30~14:00	上地区健康管理センター
11月15日	"	三隅町公民館
11月16日	"	浅田小学校

● いずれも県の検診車にて実施いたします  
● 料金…… 300円

## 力 ぜ……♡♡♡

### 早く治す養生法

かぜの90%近くはウイルスが原因です。しかし、今のところこのウイルスを直接やっつける薬はありません。

現在行なわれている治療法は、薬の助けをかりて、熱・咳・のどの痛みなどかぜの症状をやわらげその間に体力を養って治してしまおうというものです。つまり、私たちの体にそなわっている「自然の回復力」に期待しているわけです。

この自然治癒力をフルに発揮させるのが養生です。そして、かぜ薬の効きめを生かすも殺すも養生にかかっているのです。

**養生法・3つのポイント**  
かぜにうち勝つ体力を養うには何よりも安静・保温・栄養の3点を守ることからはじまります。3日で治るはずのかぜが一週間も十日もかかってしまうのはこういっただことがなござりにされているのです。

**第一目の安静**  
安静第一といわれるのは余計なことにエネルギーを使わず、かぜとの戦いだけにエネルギーを使いたいからです。またウイルスにと



りつかれるのは過労、寝不足、夜ふかし、寒冷など体力が低下したときに多いので、なおのこと安静は必要です。そして、鼻水、鼻づまり、悪寒といった局地戦のうちに思い切って休むこと。初期の養生こそ病気の経過を短縮する最善の方法です。

**暖かい部屋・暖かいフトンで**  
暖房器具の普及で日中は割合暖かく保たれていますが、部屋の空気が乾燥しすぎないよう湿度を保ってください。夜間は暖房が効かないので体を冷やさないよう寝具は厚目にします。フトンもよく干してください。ホカホカした暖かいフトンは安眠の第一の条件です。

**蛋白質やビタミンで体力を**  
ひきはじめるには、鍋物やスープポタージュ、煮込みうどんなどをとるようにします。  
熱のあるときは蛋白質やビタミンの消耗が激しく体がフラつく原因にもなるので、食べられる範囲内でこれらを補ってください。牛肉、とり肉、魚などとりたいたいところですが、食べられなければ消化のよい半熟卵やバター、チーズなどがいいでしょう。また食が進まなくても水分だけは十分にとりましょう。